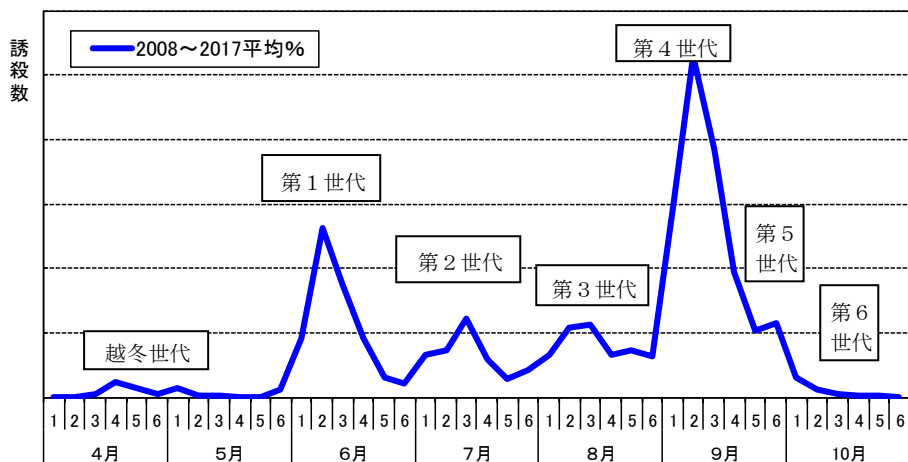


モモハモグリガ誘殺消長

モモハモグリガのフェロモントラップ誘殺消長（2019年調査）

試験場予察ほ（過去10年間の消長模式図：果樹試験場内）



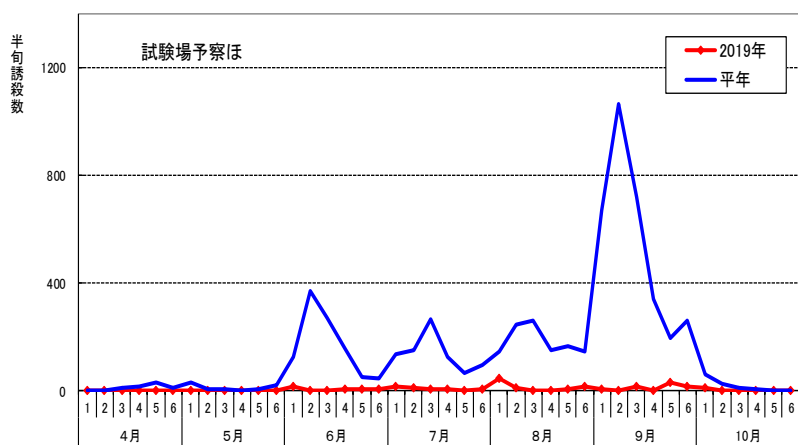
【調査地点】

果樹試験場内のモモほ場（須坂市）

【発生生態と防除のポイント】（標高約350m）

- ・年6～7回の発生である。
- ・各世代成虫の発生最盛期は越冬成虫が4月下旬、第1世代は6月上旬、第2世代は7月中旬、第3世代は8月上旬、第4世代は8月下旬、第5世代は9月下旬、第6世代は10月中旬頃。
- ・寄生量は、第3世代から急増し第4、5世代は高密度となる。
- ・発生が多くなる第2～4世代の除が重点になる。
- ・薬剤防除の目的は、主に幼虫の葉への食入を防止することにある。

試験場予察ほ（果樹試験場内：須坂市）



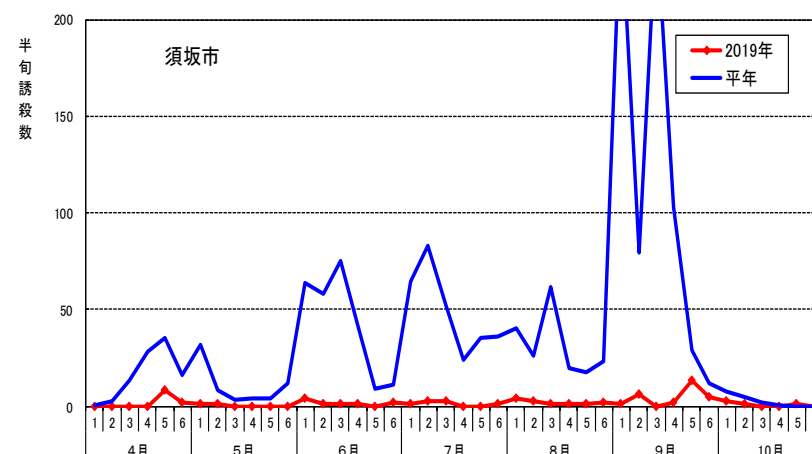
【調査地点】

須坂市果樹試験場内モモほ場（標高約350m）

【コメント】

- ・平年は、2009年～2018年の平均。

須坂市（病虫害防除所調査）



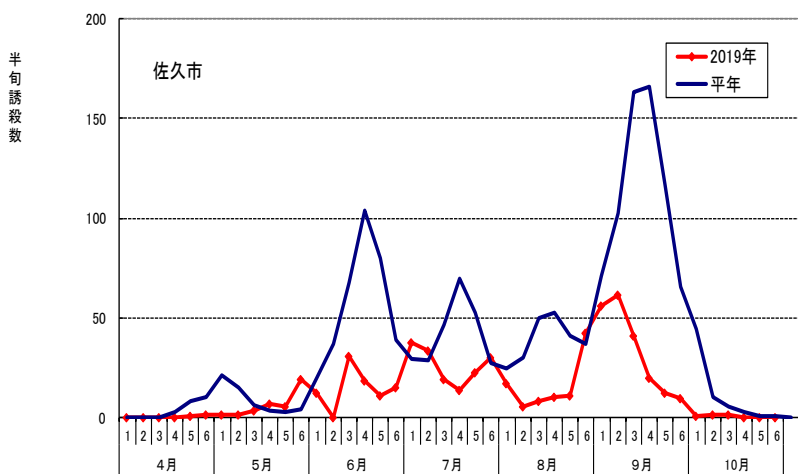
【調査地点】

須坂市井上モモほ場（標高約350m）

【コメント】

- ・平年は、2009年～2018年の平均。

佐久市（佐久農業改良普及センター調査協力）



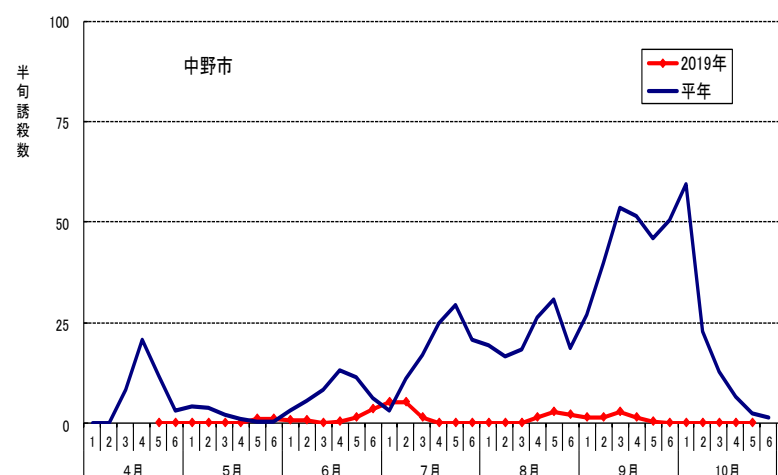
【調査地点】

佐久市モモほ場（標高約740m）

【コメント】

- ・平年は、2009年～2018年の平均。

中野市（北信農業改良普及センター調査協力）



【調査地点】

中野市モモほ場（標高約370m）

【コメント】

- ・平年は、2009年～2018年の平均。